

標準化推進委員会

概要・募集内容

IoT 時代を契機として現在、世の中のサイバーとフィジカルに跨るビジネス構造、経済活動の形は大きく変革しており、その中での標準化活動の役割も変化、これまで以上にその重要性が増しております。当委員会ではこのような状況を踏まえ、CIAJ 会員企業の国際標準化活動を通じたビジネス活性化、ビジネス連携に貢献することを目的に、最新の国際標準化動向、標準化に関わる研究動向等を収集・展開しております。

国際標準化活動に直接かかわっておられる方々は勿論のこと、国際標準化によるビジネス戦略にご関心のある皆様の参画を心よりお待ちしております。

活動状況

【主な活動内容・成果】(昨年度までの3カ年)

情報通信技術に関する標準化活動の全般的動向把握と有識者との意見交換を充実させるべく、2019 年度までは、東京開催講演会(伴う意見交換会)を2回、内容理解向上のための事前勉強会を2回、地方討論会を1回開催してきた。地方討論会では、施設見学会も実施した。2019 年度からは講演会後にワンコイン意見交換会を開始した。2020 年度は COVID-19 の影響により、全ての活動をオンライン形式で実施。

2020 年度

- ・講演会(Zoom)「標準必須特許(SEP)の最新動向と今後への展望～標準・知財・競争法の Interplay(交錯)」
東京大学未来ビジョン研究センター 二又俊文客員研究員
- ・講演会(Zoom)「イノベーションにおける標準化の役割」 一橋大学学経営管理研究科 江藤学教授

2019 年度

- ・講演会「人工知能は人間と社会をどのように変容させるか」 名古屋大学情報文化学部 久木田 水生准教授
- ・講演会「IoT時代の到来 標準化の先にあるもの」 立命館アジア太平洋大学国際経営学 高梨 千賀子准教授
- ・討論会：「標準化に関する経済学的分析に関する研究」 高知大学人文社会科学部門 新井 泰弘准教授

2018 年度

- ・講演会「クルマの IoT (Vehicle IoT)、コネクティッドカー、次世代 ITS、自動運転等、これからのビジネスを変える動向と標準化の進展」インテル(株) 野辺継男氏
- ・討論会「ロボットとのハーモニアスな共生における倫理的・法的・社会的・経済的課題」 ATR 知能ロボティクス研究所 堀川優紀子氏

参加のポイント(参加メリット)

- ・国際標準化に関わる最新の動向、リサーチ動向取得
- ・国際標準化に関わる産学官の第一人者、有識者を招聘し、直接の意見交換やセミナーを通して、最新の動向・研究成果を習得するだけでなく、人脈形成、ビジネス連携の場として本委員会を活用可能
- ・標準化活動に関わる日本および CIAJ メンバー企業にとっての共通の課題を明確化し、本委員会の活動を通して解決の糸口を見出すことにより、国際標準化活動を通じたビジネス活性化、ビジネス連携を強化可能。

標準化推進委員会

委員会社：岩崎通信機(株)、日本電気(株)、富士通(株)、三菱電機(株)

設立：1999年10月

年会費：5万円

※期中の会合へのオブザーバ参加(無償)も可能です。

お問い合わせ先：事務局 齊藤 利雄 t-saito@ciaj.or.jp